起動可能なメディアを作成するには、次の手順を行います。

- 1. ツールメニュー、またはツールー覧から[起動可能なディスクを作成]をクリックします。
- 2. 起動可能メディアの作成処理方法が自動的に決定されます。
 [作成]をクリックすると起動可能なディスクを作成するためのファイル構築が開始されます。

ファイナル 丸ごとバックアップの起動ディスクを作成	×
ステップ1/2: システム構成の準備	
□ 記 前可能ディスクの作成処理を手動で選択する	
● Windows 回復環境 (Windows RE)	
○ Windows アセスメント & デプロイメント キット (Windows ADK) 😵	
 Windows 自動インストール キット (Windows AIK) 	
○ Windows インストールメディア	
< 戻る(出) 作成 キャンセル ヘノ	レプ

※口にチェックが付いていないことを確認してください。※「Windows 回復環境 (Windows RE)」にチェックが 付いていることを確認してください。

- 3. ファイル構築完了後、[次へ]をクリックします。
- 4. USBメモリに直接起動可能データを書き込むか、CDやDVDなどに書き込むためのISOファイルとして 保存するかを選択します。

USBメモリに直接書き込む場合は、上部選択ボックスからUSBメモリを選択して[作成]をクリックします。



ISOファイルとして保存する場合は、下部入力欄にISOファイルの保存場所とファイル名を指定して [作成]をクリックします。[...]をクリックすると保存場所を参照できます。

ファイナル 丸ごとバックアップの起動ディスクを作成
ステップシビン: 総動メディアを作成 総動プログルオリンBメギリーに増歩込れには、USBメギリーを編用してくたりし、増歩込んたUSBメギリー
は個人用途での小使用可能です。 警告:対象のボリューム上のすべてのテータが削除されます。
利益とか 総動プログラムをISOファイルとして保存する場合は、保存する場所を指定していたさい、保存したISOファ イルは、個人用金でのみ使用可能です。
C:YUsersWNECWin8#Desktop#Boot.iso
< 戻る(良) 作成 キャンセル ヘルブ

5. ISOファイルとして保存した後、ISOファイルをCD-RまたはDVD-Rに書き込みます。

Windows[®] 7, Windows[®] 8をお使いの場合は、Windows[®] エクスプローラから保存したISOファイルを 右クリックして「ディスクイメージの書き込み」をクリックします。

Windows[®] 8 / Windows[®] 7以外のWindows[®] をお使いの場合は、お手持ちのCD/DVDライティングソフトウェアが必要です。

ライティングソフトウェアの取扱説明書に従って、保存したISOファイルの書き込みを行ってください。



空のCD-RまたはDVD-Rをパソコンに挿入して、「書き込み」をクリックします。

・ Windows ディスク イメージ書き込みツール
ディスク イメージ ファイ bootimage.iso ル:
書き込み用ドライブ(<u>D</u>): DVD R ドライブ (E:) V
- 状態 ディスク イメージの書き込みを開始するには、[書き込み] をクリックし ます。
□書き込み後のディスクの確認(⊻)
書き込み(<u>B</u>) キャンセル(<u>C</u>)

書き込みが完了しましたら、ディスクを取り出してください。

上記操作で起動可能メディアを作成できない場合は、カスタマー・サポート・センターへご連絡願います。